

令和7年10月20日

保護者様

四国中央市立松柏小学校
校長 加地 孝昌

令和7年度1学期アンケート結果のお知らせ

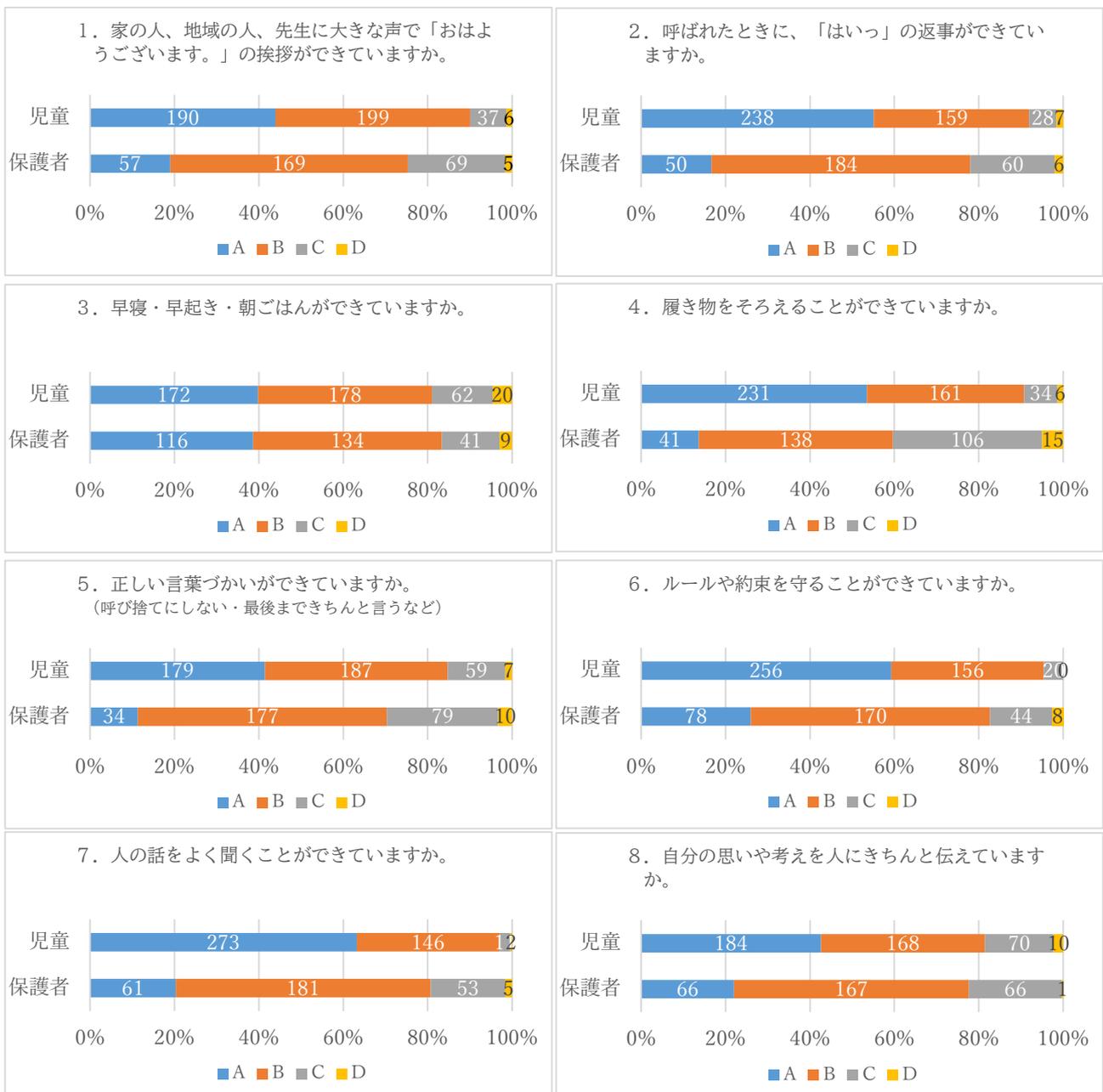
秋涼の候、保護者の皆様にはご健勝のこととお喜び申し上げます。日頃は本校教育にご理解、ご協力いただき誠にありがとうございます。

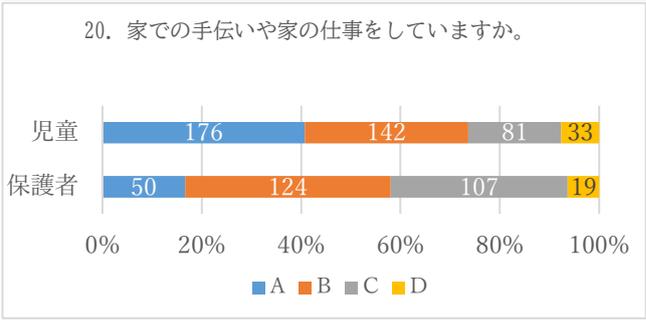
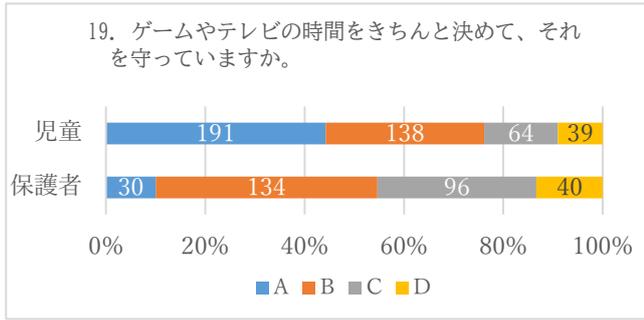
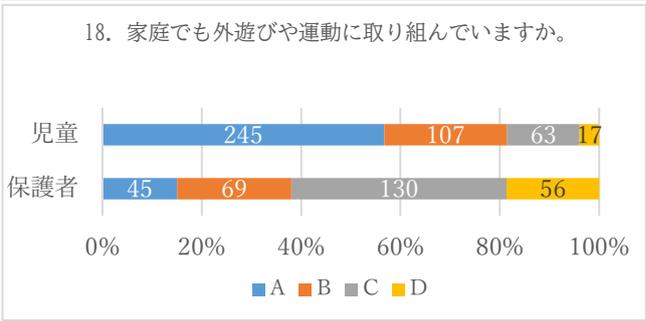
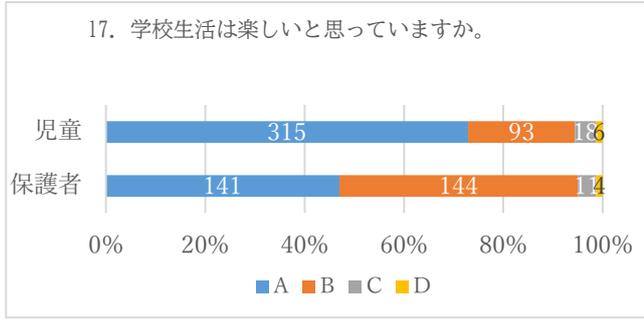
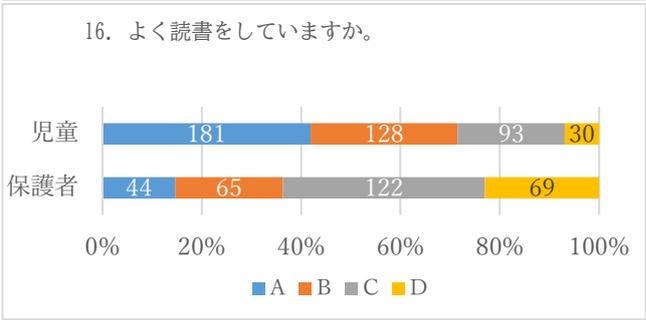
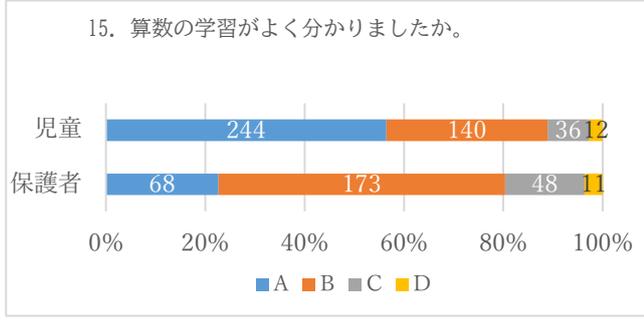
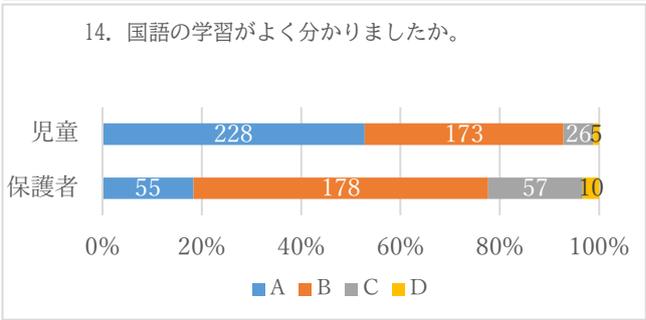
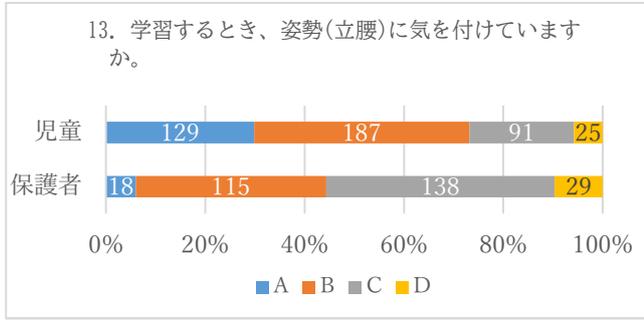
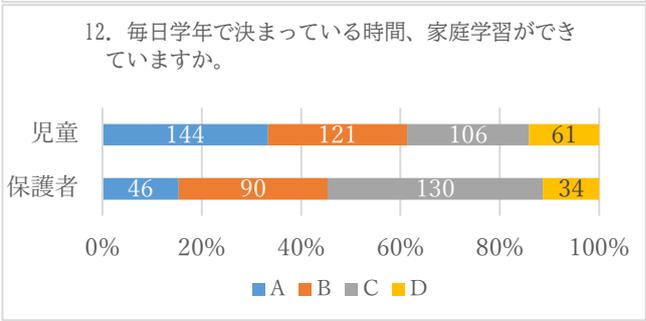
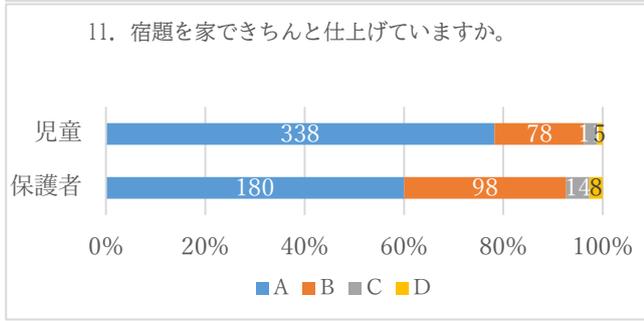
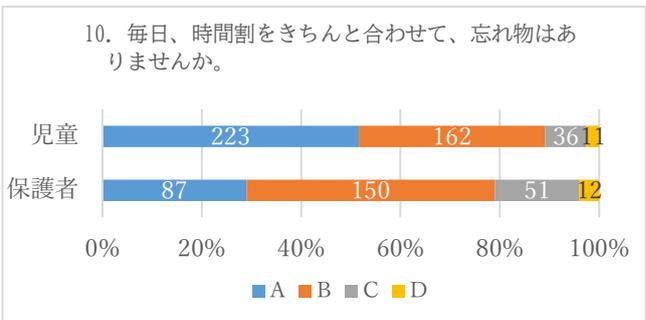
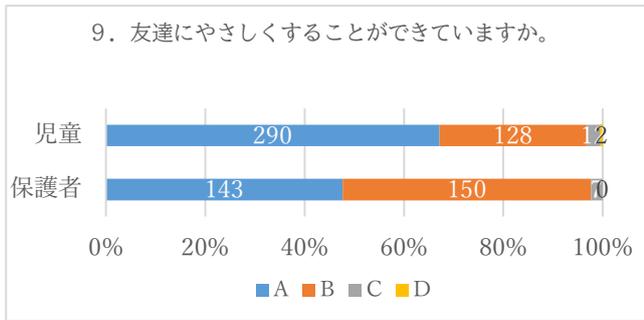
さて、個人懇談の際にご協力いただいたアンケートの集計がまとまりましたので、ご報告いたします。皆様方からいただいた結果を真摯に受け止め、今後の教育活動に生かしていきたいと思っています。

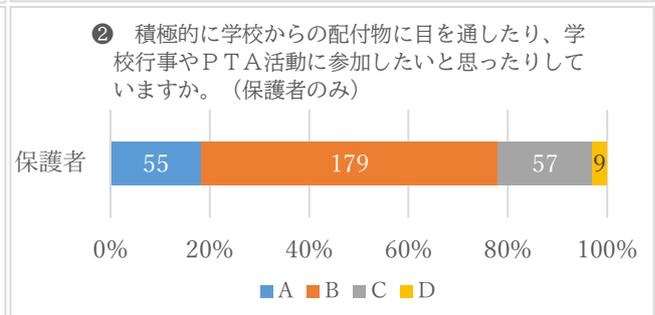
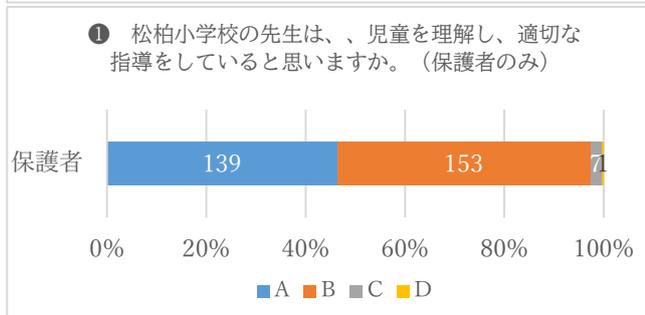
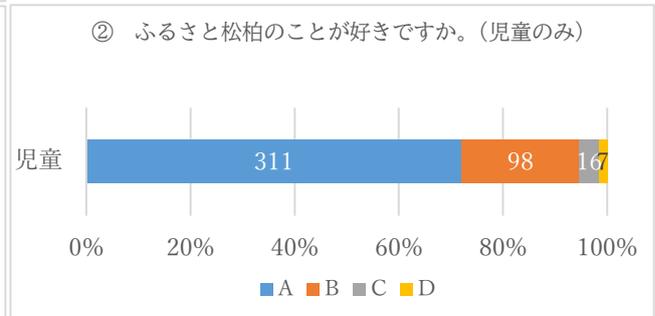
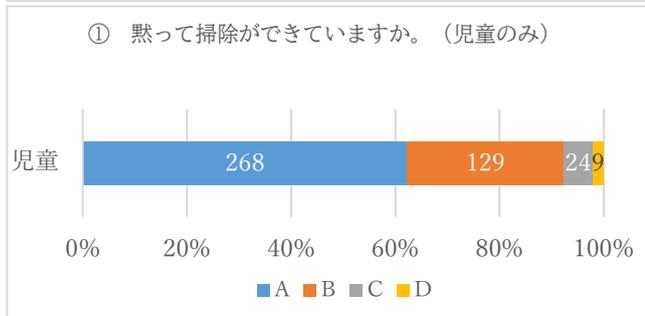
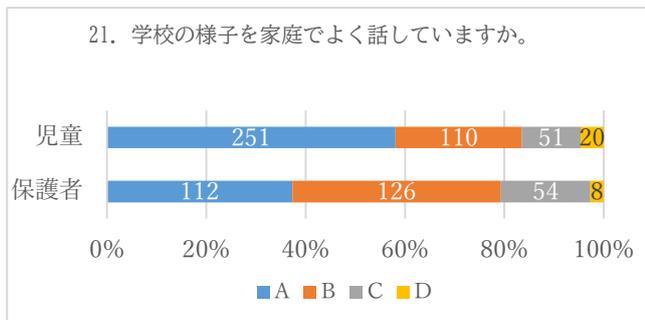
◆ 7月実施 **児童** (欠席児童以外、全員回答)・**保護者** (328 家庭中 300 家庭回答) 回答率 91%

※ A(よくできている) B(だいたいできている) C(あまりできていない) D(できていない)

※ A+Bを肯定的評価 C+Dを否定的評価







【 考察と次学期に向けて 】 ○成果 △課題

(学習について)

○ 「国語・算数の学習はよく分かりましたか」の設問においては、8割以上の児童が肯定的な回答をしております。モジュールの時間の継続的な取組により、プラスの変化が見られているのではないかと考えられます。今後も1人1台端末を活用した教材を使用し、基礎学力の定着を図ります。また、読解力育成のために、中心となる文やキーワード、必要な数値や問われていることなどに線を引く「線引き学習」を継続し、条件などを確認する活動を丁寧に行います。

△ 家庭学習や学習の姿勢(立腰)については、児童、保護者ともに十分とは言えないと考える評価となっております。「家庭学習の手引き」を各学年配付(音読カード等に貼付)しております。学年に応じた宿題を出したり、宿題以外の自主学習等を工夫して取り組んだりできるように児童にも積極的に提案していきます。また、音楽会に向けた楽器練習や家庭で取り組む運動などに意欲的に取り組めるように指導していきます。立腰については、「New学習の技」の一つ、姿勢の技で立腰を指導しています。学年に応じて「立腰」の良さを伝えていますが、まだ十分ではありません。今後も指導を継続していきますので、ぜひご家庭においても腰骨を立てることの良さをお話してください。

(生活について)

○ 「友達に優しくすることができる」「学校生活は楽しいと思っている」の設問では、児童・保護者ともに95%以上が肯定的評価でした。「ほめ愛スクール松柏小!」として、児童の頑張りを「ほめる」ことを意識して取り組んでいます。また、全学級で帰りの会に「ほめほめタイム」を行い、友達同士の良さを見付け、温かい学級づくり、学校づくりを進めております。しかし、CやDと回答した児童もいるため、「わかる」「できる」授業づくりを進めることや、友達を心から支え合える仲間づくりを推進し、より良い学校づくりに努めていきます。